

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

素晴らしい地域の自然環境を愛し、守り続けよう僕らの郷土を！

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、校区の産業や環境との関わりを重要視し、地域に根ざした教育活動を展開してきた。これまでに生徒たちは郷土について理解を深めるため、地域へ出て体験活動を行い、そこで生計を営む地域の人々や自然環境から多くのことを学びとっている。そこで、本校は今までの素地を生かし、地域とともに持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進しようと考えた。

持続可能な開発のための教育（ESD）の考えのもと、校区に密着した学習を系統的に組織することで「郷土のよさに気付き、郷土を愛し、後生へ残し、伝えていこうとする高豊中生」の育成を目指したいと考えた。そして、各種の活動を通して社会の一員として「地域」と双方向の交流のできる力を育てていきたいと考えている。

ESDを取り入れ、推進していくために全職員で学習を深め、ESDカレンダーの作成を行った。具体的には、暮らしている郷土や自然環境を理解するために、自分たちと関わり、つながっている「ひと・もの・こと」という視点から教育活動を見直したカリキュラムを作成し、実践を行っていくこととした。このカリキュラムを基にした実践を系統的に継続していくことで、将来にわたって自分の住む地域に愛着をもち、「地域のために役立ちたい」「郷土のよさを後生に残し伝えたい」と考える人材を育てていくことができると考える。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、「郷土」「自然」の観点から、自分たちの住む地域と関わりながら学習を深めていく。郷土のよさに気付き、守り、継承していくための方策を考え、実行することを通して、郷土を愛し、自然を守り続け、将来の持続可能な社会づくりの担い手を育むことができる（ESD）と考えている。

そのために、本校では以下の4つの活動で、次のような目標を掲げる。

(1) 校区の農業について理解を深め、継承していく活動

校区で農業を営んでいる農家を訪問し、農業体験活動を行う。農家の方と一緒に、実際の農作業に取り組んだり、農業が栄えてきた校区の立地条件や環境要因に気付かせたりすることで、地域のよさに目を向け、豊橋の産業を大きく担っていることを見つめ直すきっかけとすることができる。

(2) 地域の自然環境に気付き、守っていく活動

太平洋からアカウミガメが産卵のために上陸してくる表浜海岸や海食崖上の雑木林の中から大海原を望むことのできる自転車道など、素晴らしい環境が校区にある。海岸クリーン活動と自転車道クリーン活動を行い、自然との共生や保全の大切さを体験的に学ぶことで、将来にわたって地域の一員として郷土に誇りをもって生活しようとする心を育むことができる。

(3) 地域ぐるみで自然を守り、継承していく活動

生徒たちは、校区の伊古部町ささゆり保存会によって管理されている「ささゆりの里」で

開催されるささゆり祭の案内や接待の活動とささゆりの苗を育てるための播種や苗圃幼球根移植に、『ささゆりボランティア』として参加している。地域住民が一丸となって、ささゆりを保存していく活動を実際に体験したり、地域の人と関わったりすることを通して、地域への愛着心を育み、自然環境の素晴らしさを大切にしていける姿勢を養うことができる。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校区は、昭和 43 年の豊川用水（東部幹線水路）の完成により、豊橋市の中心的な農業地帯となり農業総生産額全国一位の中心的な役割を担っている。地域の代表的な生産物であるキャベツの他、大根、白菜、トマト、スイカなどが栽培されている。また、遠州灘を望み、校区に約 8 km の表浜海岸がある。さらに伊古部町ささゆり保存会では、絶滅寸前であったささゆりを大切に育て、郷土の丘をささゆりでいっぱいにする活動に長年取り組み、群落を回復させている。この自然と人との豊かな関わりのある地域社会を再認識し、地域の「ひと・もの・こと」と関わり合うこと通し、郷土のよさに気付き、守り、継承していくことのできる人材を育てていきたいと考えている。

活動を進めるための ESD カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	●農家事前訪問、打ち合わせ ●農業体験学習						●自転車道 クリーン 活動					
2年生		海岸クリーン活動	ささゆり祭ボランティア									
3年生												

(1) 地域の農業について理解を深め、継承していく活動

生徒たちは、豊橋市の中心的な農業を支える校区の農業について、事前学習で理解を深めている。さらに、本校では地元農家で農作業を体験したり、農業に携わる人々と交流したりする活動を続けている。生徒は校区の主たる産業である農業の素晴らしさに気付き、日本の農業を支えているということに誇りをもつことができる。



メロンのつるの整理をする作業



ミニトマトの余分なつるの芽を摘む作業

(2) 郷土の自然環境のよさに気付き、守っていく活動



海岸にはたくさんのごみが



自転車道には山のような落ち葉が

校区に表浜海岸をもつ本校では、「守ろう 表浜の自然」を合い言葉にアカウミガメの保護活動の一環として、高豊中学校区健全育成会、伊古部町ササユリ保存会と協力し、海岸クリーン活動を行っている。海岸クリーン活動は、1986年（昭和61年）に生徒会が全校生徒に呼び掛けてスタートし、今年で28年目を迎える。また、総合的な学習で校区についての学習を進めた際に、校区には海岸線に沿って海を望みながら走ることのできる自転車道があることを知った。しかし、その自転車道は、落ち葉や枯れ枝等によって荒れ放題になっていた。生徒たちから「自分たちの手で自転車道をきれいにし、もっとたくさんの人にこの校区のよさを知ってもらいたい」という声が出て、平成23年度より自転車道クリーン活動が始まった。

海岸や自転車道をきれいにする活動は、今も地域の素晴らしい環境と自然と共生する暮らしについての理解を深めている。校区に素晴らしい環境があることを改めて実感し、この環境を自分たちの手で守り続けていきたいという気持ちをわき起こさせる取り組みともなっている。

(3) 地域ぐるみで自然を守り、継承していく活動



お客さんにお茶を配る生徒



お客さんの購入したささゆりを運ぶ生徒

生徒たちは、一度は失いかけてしまったささゆりを、地域のお年寄りが一丸となって復活させるための苦労を知った。お年寄りとの交流を通して、ささゆりが咲き乱れる景色、里山への望郷の念を理解した。この活動に関わる人々との交流を通して、自然を愛する心や郷土への愛着心を育み、人との関わり、つながりを大切にしていこうとする姿勢を養う活動を続けていく。

Type of materials to be used (使用する教材)

軍手、竹ぼうき、くま手、ごみ袋、移植ごて、バケツ

「豊橋市教育振興基本計画」 2011年発行 豊橋市教育委員会

キャリア教育推進の手引き「小中学校9年間を見通したキャリア教育」

愛知県教育委員会義務教育課 (WEB版)

「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 愛知県教育委員会 (WEB版)

「校区のあゆみ」 2006年発行 豊橋市総代会

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・生徒の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・学習や活動のまとめとして作られた新聞や報告書の内容、体験発表会における意欲や態度を観察し評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や行事・保護者会後のアンケート調査、学校教育活動全般にわたって全保護者・生徒を対象とした年間2回のアンケート調査等から、生徒の実態や地域の特色に沿ったESDカレンダーになるように見直しを図り、地域学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Takatoyo Junior High School